

## 「嬢捨」解釈するための 問 四十題

授業の前には傍線注釈し、**調べた語を必ずノートの下段に記しておくこと**。それがない場合、ノートチェック時には不合格になり、居残りノート作成をおこなうことになる。また、授業で進む予定の問を解答しておき、情報共有 time には解答の確認をして、全員正解を目指すこと。一人でもそれが出来ていないと全員正解は遠い。

《 》内は、傍線注釈時に挿入するヒントである。

問一、次の読み方を現代仮名遣いで記しなさい。

- (1) 憂き (2) いたう (3) 二重 (4) 給び (5) 夜 (6) 嬢 (7) 麓  
(8) 入りて (9) 下り来べく (10) 逃げて来ぬ。 (11) 家に来て  
(12) 明かく (13) 姥捨山 (14) 来にける

問二、この作品のジャンルは？成立は何時代？

問三、「嬢」って「男」のどういう人？

②問四、傍線注釈

②問五、「若くより」って誰が若い？

③問六、「この妻の心、憂きこと多くて」現代語訳

③問七、「この姑の老いかがまりてゐたるを常にくみつゝ、」傍線注釈

③問八、「姑」って誰のこと？本文から抜き出す。

③問九、「姑」って本当はどういう人を指す語？

④問十、主語を明示して傍線注釈

⑤※「**このをばのために**」は「おろかなること多く」の上に持つていつて「**この嬢に対して**」と訳す。

⑤問十一、傍線注釈

⑤問十二、「おろかなること」例えば具体的にどうした？

⑥※「**あたり**」：「**つていた**」

⑦問十三、「これ」何を指す？

⑦問十四、「この嫁」同じ人を以前に何と表記していた？

⑦問十五、「思ひ」の内容を抜き出す。

⑧問十六、傍線注釈

⑧問十七、「責め」主語は？

⑨問十八、主語を明示して傍線注釈

⑨問十九、「思ひ」の内容を抜き出す。

▼…文法的説明（二単語以上だったら品詞分解）

◎…指示に従い答える

※何もついていないものはヒント

※「品詞分解」…単語に分け、それぞれの単語を文法的に説明すること。

② a) 係り結びの説明

② b) 接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法（もみじの助詞一覧表参照）を記す

③ c) ▼「憂きこと多くて」

③ d) 格助詞はいくつある？

④ e) ▼「言ひ聞かせければ」

⑤ f) ▼「いづくにもあらず」

⑥ g) ▼「二重にてゐたり」

⑦ h) 接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法を記す

⑧ i) 敬語（２つ）の説明

⑧ j) ▼「捨て給びてよ」

⑨ k) ▼「責められわびて」  
l) ▼「やつてむこ」

⑩問二十、「嫗」誰を指す？

⑩問二十一、「寺に尊きわざする、見せ奉らむ。」傍線注釈

⑩問二十二、「法会」って何？

⑪問二十三、「言ひ」の主語は？

⑪問二十四、誰がどうして喜んだ？

⑫問二十五、「住み」の主語は？

⑫問二十六、「高き山の峰の、下り来べくもあらぬに置きて逃げて来ぬ。」傍線注釈

⑫問二十七、「峰」ってどんな所？

⑬問二十八、「やや」誰がどういう気持ちで言った？

⑬問二十九、「いらへもせで逃げて、家に来て思ひをるに」主語を明示して傍線注釈

⑬問三十、「思ひをる」何を思っている？

⑭問三十一、「腹立ちて、かくしつれど」主語を明示して傍線注釈

⑮問三十二、「いと悲しくおぼえけり」誰が何をどうして「悲しく」思ったのか？

⑯問三十三、主語を明示して傍線注釈

⑰問三十四、主語を明示して傍線注釈

⑱※「や」…俳句でいう「切れ字」みたいなもの。心がそこに集約される。

⑱問三十五、「わが心慰めかねつ」傍線注釈

⑱問三十六、「わが心」とは誰のどういう心？

⑱問三十七、「更級」の「姥捨山」に何があるの？

⑲問三十八、誰がどこに行って何を「迎へ」たのかを入れて傍線注釈

⑳問三十九、「それ」とは？

・※《姨捨山を引き合いに出して、歌などに》慰めがたとしと《縁語で詠まれるの》は  
・問四十、「これがよしになむありける。」傍線注釈



⑩ㄷ敬語の説明

⑩ㄷ「見せ奉らむ」

⑪ㄱ接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法を記す

⑪ㄷ「負はれにけり」

⑫ㄷ4つの「の」の意味用法

⑫ㄷ「下り来べくもあらぬ」

⑫ㄷ「逃げて来ぬ」

⑬ㄱ接続助詞を全て見つけて接続助詞の意味用法を記す

⑭ㄷ「腹立てける」

⑭ㄷ「腹立ちて」

⑭ㄷ「かくしつれど」

⑱ㄷ「慰めかねつ」

⑲ㄷ係り結びの説明

⑳ㄷ係り結びの説明

・ㄱ係り結びの説明  
・ㄷ助詞を全て見つけて助詞の種類を示す